

■ 一般目標 (GIO)

歯に生じる硬組織疾患の概要を理解するために、疾患の治療の進め方の基本を修得する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ① 歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症, 咬耗, 摩耗等), 歯の変色, 象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。
- ② 齲蝕およびその他の歯の硬組織疾患 (tooth wear, 生活歯の変色, 象牙質知覚過敏症を含む) の症状, 検査法, 診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。
- ③ Minimal Intervention Dentistry <MID> に基づく歯科治療の意義, 臨床的対応を説明できる。
- ④ 修復材料とその取扱い, 修復法の適応を説明できる。
- ⑤ 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- ⑥ 窩洞形成の意義と方法を説明できる。
- ⑦ 仮封の意義, 種類および特徴を説明できる。
- ⑧ 修復後の管理の目的と方法を説明できる。

■ 教科書：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 (医歯薬出版)

■ 参考書：1 保存修復学 第7版 (医歯薬出版)
2 保存修復学 21 第6版 (永末書店)

■ 授業時間：火曜日 9:00~9:50, 10:00~10:50

■ オフィスアワー：柴崎 翔 (shibazaki.shou@nihon-u.ac.jp)
火曜日 17:00~18:00

■ 授業の方法：スライドを使用し、適宜プリントを配布する。

■ 準備学習・ 事前に必ず教科書を読み、授業内容を理解しておくこと。
準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■ 成績評価方法：定期試験 (100%) を基本とする。

■ 注意事項：講義に必ず教科書を持参すること。

■ 実務経験：柴崎 翔：現在、日本大学歯学部保存学教室修復学講座に在籍しており、保存治療を専門に行なっているところから、本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 10月6日 柴崎 翔	1. 保存修復学総論 1) 保存修復学とは 2) 疾患の種類と原因 (教) pp. 2-25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修復学の概念を理解する。 ・ 保存修復処置の対象となる疾患の病態, 分類および原因を

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	pp. 31-33	理解する。
第3・4回 10月13日 柴崎 翔	1. 保存修復学総論 3) 診査方法 4) 修復法の種類 (教) pp. 2-25 pp. 31-33	<ul style="list-style-type: none"> 保存修復処置の対象となる疾患の診査法および修復法の種類を理解する。
第5・6回 10月20日 柴崎 翔	2. 修復治療の流れ 1) 修復治療の概要と処置ステップ 2) 前準備処置 3) 硬組織切削器具 4) 歯髄の保護 (教) pp. 29-45	<ul style="list-style-type: none"> 硬組織疾患の特徴をふまえた修復治療の流れを理解する。 前準備処置を理解する。 硬組織切削器具を理解する。 保存修復治療における歯髄保護について理解する。
第7・8回 10月27日 柴崎 翔	3. 直接修復 1) コンポジットレジン修復 ① 特徴と適応症 ② 種類と組成 ③ 歯質接着の基礎 (教) pp. 46-61	<ul style="list-style-type: none"> 直接法修復として、コンポジットレジン修復の特徴および適応症を理解する。 コンポジットレジン修復時の窩洞の特徴を理解する。 コンポジットレジンの種類および組成を理解する。 コンポジットレジン修復における歯質接着システムを理解する。
第9・10回 11月10日 柴崎 翔	3. 直接修復 1) コンポジットレジン修復 ④ 修復の手順 2) グラスアイオノマーセメント修復 ① 特徴と適応症 ② 種類と組成 ③ 修復の手順 (教) pp. 46-70	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットレジン修復の一般的術式を理解する。 直接法修復として、グラスアイオノマーセメント修復の特徴および適応症を理解する。 グラスアイオノマーセメントの種類および組成を理解する。 グラスアイオノマーセメント修復の一般的術式を理解する。
第11・12回 11月17日 柴崎 翔	4. 間接修復 1) メタルインレー 2) コンポジットレジンインレー 3) セラミックインレー 4) CAD/CAM 修復 5) メタルインレーとメ	<ul style="list-style-type: none"> 間接法修復として、鑄造修復の特徴および適応症を理解する。 窩洞の分類、名称および構成要素を理解する。 メタルインレー窩洞の特徴および具備すべき条件を理解する。 メタルインレー修復の一般的手

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	タルフリーインレーとの違い (教) pp. 25-29 pp. 79-110	順を理解する。 ・合着用セメントの所要性質およびその種類，組成，特徴を理解する。 ・コンポジットインレーの特徴を理解する。 ・セラミックインレーの特徴を理解する。 ・用いる材料によって臨床術式が異なることを理解する。 ・CAD/CAM について理解する。 ・CAD/CAM 修復について理解する。 ・CAD/CAM を用いたインレー製作法を説明できる。
第 13・14 回 11 月 24 日 柴崎 翔	5. 歯の漂白 1) 変色の原因 2) 適応症と禁忌症 3) 漂白法の種類と特徴 4) 漂白法の手順 5) 漂白後の注意 6. 象牙質知覚過敏の処置 1) 原因と特徴 2) 処置の実際 (教) pp. 71-78 pp. 118-121	・変色の原因を説明できる。 ・漂白の特徴，適応症を説明できる。 ・漂白の種類，メカニズムを説明できる。 ・漂白の一般的手順を説明できる。 ・漂白の実際について，症例を通して説明できる。